

2025年度 日本手術看護学会北海道地区

セミナーII 「術中急変対応スキルをみがく（知識編）」開催報告

2025年10月25日、ZoomによるウェビナーにてセミナーII「術中急変対応スキルをみがく（知識編）」を開催しました。全国各地から59名の参加があり、世代や経験年数を問わず多くの方々にご参加いただきました。

旭川医科大学病院 麻酔蘇生科の黒澤温先生からは、麻酔の基本や急変の兆候、観察のポイント、初期対応の流れについて、また函館五稜郭病院 手術看護認定看護師の伊藤祐也先生からは、術中急変時における手術室看護師の役割やチーム連携、的確な報告・記録の方法について、イラストを交えたわかりやすい講義を行っていただきました。

参加者からは「説明がわかりやすく理解が深まった」「若いスタッフにぜひ聞いてほしい」「自分の知識を整理できた」など、満足度の高い感想が寄せられました。

後半では、実際に起こり得る事例をもとにリアルタイムアンケートを活用した事例検討を行いました。「他の参加者の意見をリアルタイムで共有でき、視野が広がった」「現場の状況を具体的にイメージできた」との声も多く、ウェビナーでありながら活発な意見交換が行われ、双方の学びが深りました。

オンライン開催にすることで、全国どこからでも気軽に参加でき、より多くの方々に学びの機会を提供することができました。また、「後輩への指導に活かしたい」「自施設でも共有したい」「定期的に受講したい」といった意見も寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

今後も、より多くの会員の皆様が興味を持って参加していただけるよう、魅力あるセミナーを企画・運営してまいります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



まず どうする？症例1

呼吸状態の確認 意識を確認する
数値を確認する 先輩看護師を呼ぶ
酸素が流れているか 呼吸を目視する

呼吸の確認、意識レベルの確認
酸素チューブは外れてないか？

呼吸状態の観察 酸素投与がされているか確認する 呼吸の確認する
呼吸状態確認
意識の確認 呼吸状態を観察する 呼吸状態を見る

人を呼ぶ 呼吸しているか確認する プローベと覚醒状態を確認する
酸素投与。救急カート。エアクエイ 胸の動き
人を集めます。 脈を確認。
5068369

5068396 気道の評価 意識レベルの確認、 カフノセンサー
応援を呼ぶ

【オンライン中に行われたアンケート集計画面】